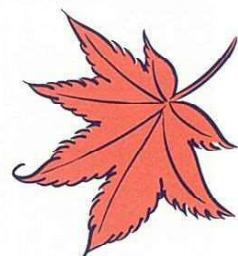


アート くらまつ

もくじ

- 6周年記念事業開催 P 2
記念講演 三遊亭楽団治さん P 3
男女共同参画週間記念講演
子どもは見なくても知っている P 4
女性のための相談室
デートDVって知っていますか? P 5
インフォメーション P 6



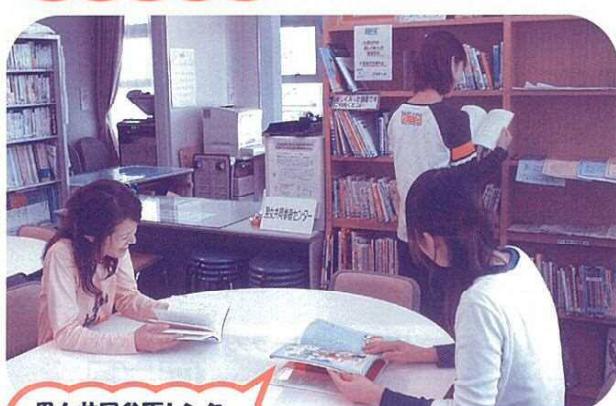
平成20年4月から
男女共同参画センターは
教育センター3Fに移転しました



6周年記念事業
記念講演 落語“子はかすかれ”



「こころとからだの健康セミナー」
まなびの郷 みづほでの講演風景
(H.20.9.30)



男女共同参画センター
図書情報コーナー



6周年記念事業
バザー風景(ピカピカクラブ)



第10号

2008.秋

三木市男女共同参画センター6周年記念事業開催

参加団体からの報告



男の自立講座 料理中級編ぱーと2

受講生代表 上田三郎さん

「男の自立メッセージ」

もしも妻が長期入院したら、家事のなかでも一番困るのは食事の用意ではないかと日ごろから考えていた私は「男の自立講座・初級編」に参加するようになりました。その中で、多くのことを学びました。また更に、仲間と一緒に吉川町で、男性料理教室を立ち上げるなどの活動にも生かすことができました。今後も男性の皆さんへの参加を呼び掛けたいと思っています。



上田 三郎 さん

里の家

赤松彰子さん

「里の家 20年の歩み」

田んぼや畠に囲まれたのどかな三木市志染町の自宅を中心におしゃべりをするも良し、お気にいりの本を探すも良しのオシャベリルームを開いて20年。ここで、子育てをしているお母さん方や、お年寄りを介護中の女性達と一緒に文庫の開設、学びの会などの活動をしてきました。最近では三木市の医療問題にも取り組んでいます。



赤松 彰子 さん

みず.(どっと)みきず

三田俊子さん

「活動報告」

男女共同参画センターを拠点に活動しているグループです。今年度は市民活動支援金事業として「賢い生活者になるために~食品表示を考える、女性と生活・人生設計、チベット体操」等の各種セミナーを実施しています。「ひとりひとり決し



三田 俊子 さん

さんかく テーマ：笑顔で参画もまーるくね！

日時：平成20年9月27日(土)午後1時～4時

「参加者数】108名 【参加団体】6

会場：三木市男女共同参画センター・こらぼーよ

「記念講演」三遊亭 楽団治 さん

て無理をしない、小さくても皆の力を合わせて」が合言葉です。

エコ三木

渡邊雄一さん

「エコ三木6年の歩み」

エコ三木は、兵庫県地球温暖化防止活動推進員・三木地区連絡会の愛称で設立から6年が過ぎました。8人のメンバーで、各種のイベントやアフタースクールなどで環境に関する啓発活動をしています。多才なメンバーで、紙芝居や環境カルタ、エコハウスなど教材を手作りしています。未来を担う子ども達のためにも今後もがんばりたいと思っています。



渡邊 雄一 さん

自由が丘はまゆうコーラス

自由が丘公民館で歌い始めて約30年。若かったメンバーもそれなりの年齢になりました。公民館でミニコンサートを開いたり、声をかけていただいたところへボランティアで出向いたりしています。その先で反対に元気をもらってかえることもしばしばです。懐かしい曲、新しい曲、おなじみの曲をご一緒に歌いましょう！



自由が丘はまゆうコーラス さん

アンケートより

- ・それぞれのグループでいろんな活動をされているのを知りました。皆さん頑張っているんだなと思いました。
- ・男の自立講座の発表を聞きましたが、こういう方が増えたら女性がもっと幸せになるのではと思いました。

記念講演

笑顔とコミュニケーション ～老後ににおける男の自立、女の自立～

講 師：三遊亭 樂団治 さん

ぶろふいーる

- ・本名 太田垣 康男
- ・三遊亭楽太郎の8番目の外弟子
- ・兵庫県朝来市出身
- ・教職生活の後各種のイベントで講演会を行う
- ・O型



毎年恒例の三木市男女共同参画センター主催の記念事業が9月27日(土)に開かれました。記念講演は、三遊亭楽団治さんで落語もされるとあって、最初から笑いと人を惹きつける話術で、皆の関心が集っていました。

「家庭の中では笑顔が大切で、コミュニケーションは、お互いの雑談の中で表現する言葉力が養われる。」

今、家庭の中で親と子ども、夫婦の会話が少ない。お互いにおしゃべりする事で相手の行動や、気持ちがわかりあえると言われ、納得しました。親子、夫婦の関係、それぞれが、相手を思いやる気持ちがあれば、家事の分担や、男性が料理をすることも、共に育児を楽しむことも出来る。このごろは、親が子育てを楽しんでいないように思えます。ひとりで悩み、失敗を恐れている。教育とは、協力して共に育つ=共育、協育。ここでも、お互いのコミュニケーションの大切さがわかります。

男と女の自立の問題も、共に楽しんで行動すれば、笑顔溢れる老後かな・・・と実感しました。

最後に落語、「子はかすがい」を聞き、有意義な一時を過ごしました。



固いイメージ払拭？！講師に「こんなに男性の参加が多いのは優秀」とほめられました。
(会場の様子)

「子はかすがい」とは？

建築で、柱や梁などをつなぐコの字型の金属(釘)を鉈(かすがい)といいます。建物の重要な構造物をしっかりとつなぎとめることから「こはかすがい」つまり、夫婦をつなぎとめる頑丈な大釘にたとえたものです。

感 想

とても、楽しくて勉強になるお話を聞きました。夫と2人の生活ですが、もっと、コミュニケーションをとり楽しく老後におりたいと思います。(そのほか、ホロリとした、楽しかった、勉強になったなど多くの感想をいただきました。)

男女共同参画週間記念講演

子どもは見なくても知っている ～DVと児童虐待～

開催日：H20.6.29(日)

講 師：ノンフィクションライター

吉廣 紀代子(よしひろきよこ)さん

昨今、夫から暴力を受けるドメスティック・バイオレンス(DV)が社会問題化しています。殴ったりけったりする「身体的暴力」、大声でどなる、ばかにする、監視する、束縛する「精神的暴力」…家の中で両親の暴力を見て育った子どもは、一体どんな大人に成長するのでしょうか？子どもにとって良いわけありませんね。大人が作る環境で、子どもは、はかりしれない影響を受けます。



吉廣紀代子さんの講演会の様子

2001年にDV法が制定され、2004年には児童虐待防止法の改正でDVは同居する子どもへの虐待になると定義されました。最近ではテレビドラマでも若者間のDVについて取り上げられ話題となりました。

●なぜ、夫が妻に暴力を振るうのか？

それは、男性は強くあるべき、女性は従順であるべきという決め付けられた考え方方がその背景にあります。長い間、男性が女性を支配してきた社会構造が、女性は殴られても我慢するものと勘違いさせます。

●子どもはどんな被害を受けているか

- 子どもも母親と同じように暴力を受ける。

- 両親や大人の不満のはけ口にされ感情的に叱られる。

- 母親の身代わりに暴力を受ける。

- 加害者（自分が加害者だと思っていない場合が多い）への服従を強いられる。

- DV目撃による恐怖と物音や叫び声によるその再現を体験する。(フラッシュバック)

- 「嫌がなっていない」と父親が母親をけなす口実にされる。

- 家庭で良好な人間関係を築く学習ができない。

●子どもにどんな影響ができるか

- 家族が分断され、関係がうまく築けない。

- 「自分が悪いから」と自尊感情を低下させる。

- コミュニケーション不全から家庭外でも交友関係が円滑にいかず、攻撃的になったりボーッとしていたりする。

- 体調不良、病気がちになる。

- 家出や非行に走る。



●お母さん、気づいて！

実際、妻であり母である被害者は、「自分自身が被害者である」ということに気づいていないことが多いのです。「自分が悪いから」「好きだから我慢する」「本当は悪い人じゃない」と思い込み、つらくともなかなか別れられない。支配されていることを愛されていると勘違いしている人も多いようです。まずは女性が強くならなければ！自分が殴られている時は、子どものことなんて考える余裕はないという母親もいます。子どもさえいなければ…なんて子どもに決して言わないこと。子どもに罪悪感を持たせないようにしましょう。

●将来を担う子どもたち健全に育ってほしい

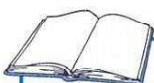
性別に関係なく、誰もが自由で平等である社会作りをしたいものです。

◇吉廣紀代子さんの著書◇

『こころを殴られた子どもたち』

『僕が妻を殴るなんて』

『子育てに男をまきこむ(得)作戦』など多数



男女共同参画センター新着図書のお知らせ

『弱い自分を好きになる本』

香山 リカ著 朝日新聞出版
2008年6月発行

今の自分を認め肯定的に生きるために具体的な方法を精神科医である著者が伝授します。



『加害者は変われるか？

DVと虐待をみつめながら

信田 さよ子著 筑摩書房
2008年3月発行

DVや虐待はなぜ起こるのか？加害者を知ることで見えてくることがある。家族内暴力の問題点を取り上げ解決法を模索する。

★1人2冊まで2週間借りることができます。



デートDVって知っていますか?

ドメスティック・バイオレンス（配偶者からの暴力）が最近、10代、20代の若いカップルの間でも起こり問題になっています。「デートDV」と呼ばれるこれらの暴力は将来、深刻な夫婦間のDVにつながる可能性も高く、防止策が急がれます。

例えば、殴ったり蹴ったりする（身体的暴力）、大声でどなったり、ばかにする、相手の人間関係を制限したり、メールチェックするなどの束縛（精神的暴力）、キスやセックスの強要、避妊しない（性的暴力）などは全て暴力です。大人のDVと内容はほぼ同じですが、デートDVの特徴は束縛と性暴力です。また、恋人以外の人には暴力をふるわないため、周囲の人にわかってもらえないで被害者は孤立しがちです。交際相手のいる女子高生の28%（2007年ウィメンズネット・こうべ調査）、20代の女性の20%前後がDVを受けています。（2006年内閣府調査）被害者の多くが、「自分が悪いから」「好きだから多少の暴力は我慢する」「嫉妬は愛されている証拠」と思い、暴力や支配を愛情と勘違いし、別れることはとても困難です。DVの構造は「力と支配」。相手を支配し、思い通りにするために手段として使っています。既婚女性の3人に1人がDVを体験（身体的・精神的

・性的のいずれか）しています。
(2004年内閣府調査)

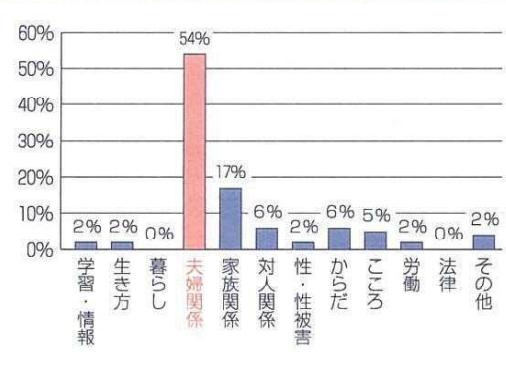
DV家庭で育つことは子どもにとっても心理的虐待となり、心身の発達に大きな影響を与えます。加害者も被害者もつくらないため、若い世代へ向けた防止教育が必要です。

なぜ、DVは起きるのでしょうか？ ①「力と支配」の関係を学んだ ②多少の暴力は仕方がないという暴力容認の社会 ③男性は強くて女性をいつもリードすべき。女性は可愛くて、黙って従えばいいと言うような偏った男らしさ、女らしさの意識（性差に基づく偏見）などがその要因です。

県内でも高校生に向けての「デートDV防止出張授業」の取り組みが始まっています。デートDVを防止し、男女がお互いを尊重し対等な関係を築くための学習です。対等な関係には暴力がありません。被害者の相談相手の多くは友人です。授業は本人に役立つだけでなく、大切な友人を助けることになります。もし、お子さんがデートDVの被害を受けたら、親もショックを受けとても混乱します。いきなり「そんな相手とはすぐに別れろ！」とは言わない。「責めないから、話してみて。私たちはいつでもあなたの味方よ」と言って黙って聴くことです。家族だけで抱え込まないで相談室に来てください。子どもを守るためにいっしょに考えましょう。（デートDV防止授業は、三木北高校、三木東高校でも実施予定）〈相談員からの一言〉



市男女共同参画センター「女性のための相談室」 H19年度 分類別相談状況 総件数254件



「女性のための相談室」をひらいています

電話相談 TEL. 89-2354

木曜 午後1時～4時

土曜 午前10時～正午

面接相談 TEL. 89-2331(要予約)

木曜 午前10時～正午

土曜 午後1時～4時

秘密厳守・無料・女性相談員が対応します

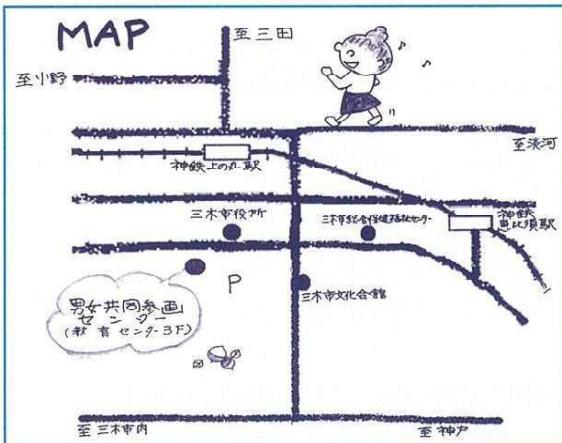
インフォメーション

これからのお講座案内・グループ紹介

講 座 名	日 時 ・ 内 容	備 考
「こころとからだの健康セミナー」 講師 赤松彰子 助産師・保健師 10:00~12:00	H20.12.9(火) 女性の健康そして性と人権を守るために H21.2.14(土) 更年期から考える老後問題 H21.3.10(火) 更年期から考える老後問題	場所:自由が丘公民館 場所:細川町公民館 場所:男女共同参画センター
「男の自立講座 (料理中級編)」 講師 岡 臣子 11:00~13:30	H20.12.20(土) H21.1.24(土) H21.2.28(土)	場所:三木市総合保健福祉センター 一時保育有 受講料:無料 (材料費実費負担有) ※募集は締め切りました
「男の自立講座 (料理中級編ぱーと2)」 講師 岡 臣子 11:00~13:30	H20.11.16(日) H20.12.6(土) H21.1.17(土) H21.2.21(土)	場所:三木市総合保健福祉センター 場所:吉川健康福祉センター 一時保育有 受講料:無料 (材料費実費負担有) ※募集は締め切りました
「絵本カフェ・よかわ」 講師 里の家 絵本の部屋 スタッフ 10:00~11:30	H20.11.21(金) ★クッキー	場所:吉川健康福祉センター 予育て中の方15名 参加費 無料 ☆材料費実費負担有 (1回300円程度)
「絵本カフェ・みき」 講師 里の家 絵本の部屋 スタッフ 10:00~11:30	H20.12.19(金) ★おいも H21.1.23(金) ★アップルパイ	場所:三木市総合保健福祉センター 予育て中の方15名 参加費 無料 ☆材料費実費負担有 (1回300円程度)
「女性のための護身術セミナー」 講師 極真空手師範 森上儀彦	H20.11.15(土) 9:30~11:30 もしものときの護身対処テクニック。大声の出し方やミットを利用して突き方や蹴り方を伝授。	場所:男女共同参画センター4F 女性と小学生のペア15組 小学生だけの参加は不可 無料
DVに悩んでいる女性のための語り合い (さくら草の会)	毎月 第3木曜日 13:00~15:00 同じような経験を語り合い、気持ちを分かち合い、情報交換しましょう。	グループについての詳細は 参画センターに 問い合わせください。
女性にまつわるいろいろなテーマで語り合う会 (おしゃれカフェ)	毎月 第2、第4土曜日(原則) 13:30~15:30 少人数で何でも気軽に話し合いましょう。	
みず.(どっと)みきず	土曜日(月1回) 13:30~15:30 女性に関わるいろいろな問題の勉強会を開催。市民活動支援金事業として年間数回のセミナー実施。	
自分の体験や感情について話し合う会 (ぐるーぶ RAKU)	自分の感情、情緒を語り合い、共感の支えあいのなかで、自分と社会をみつめてみましょう。	
里の家	里の家だよりの発刊、里の家文庫の貸出、学びの会の開催、里の家助産院	



《住 所》 〒673-0433 三木市福井1933の12
TEL & FAX 0794-89-2331
《開館時間》 9:00~17:00
《休 館 日》 土・日・祝日・年末年始



編集後記

- 新しいセンターでの記念事業は思いがけずたくさんの方に来ていただきました。
情報誌“こらぼーよ”もどうぞよろしく!
(せっちー)
- 楽しく読んで貰える記事をと、頑張っています。今回の出来はいかがなものかな…
T(*^o^*)
- 子は親の背中を見て育つ!
すごく納得。皆さん見られてますよっ☆(ひー)
- あの話題本が待たずに読めるかも…参画センター図書コーナー、のぞいてみてね
(おー〇)

